

THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT



日本財団が推進する「海と日本プロジェクトin香川」の一環として、8月1、2日に1泊2日の日程で開催された「かがわseaマスター しまうみ探検隊」隊員に選ばれた県内の小学5、6年生計25人がまとめた今回の新聞のテーマは「海の安全」です。

かがわseaマスター しまうみ探検隊(下)

しまうみ 新聞



備讃瀬戸海上交通センター見学 「管制官かっこいい」

しまうみ探検隊の隊員たちは、宇多津町の青ノ山にある備讃瀬戸海上交通センターを見学しました。管制室の見学や管制官の業務体験な



備讃瀬戸海上交通センターのシミュレーターで船舶との通信体験をする隊員たち

楽しい海を安全に

どを通して、海の安全を守る仕事の大切さを学びました。ある隊員は「海の安全を守る人たちに感謝したい。将来は海上保安庁に入りたい」と話していました。

と声を弾ませていました。同センターでは、リーダーやテレビカメラなどを使って船がぶつからないよう交通整理していることを学びました。管制官の仕事を見学した男子隊員は「船長さんに声をかけて、みんなの安全を守っている。とってもかっこいい仕事と感心していました。隊員たちは、シミュレーターを使った管制官業務の疑似体験にも挑戦。管制官のアドバイスを受けながら受信機で船舶と通信し、「航路には漁船がいます。気を付けてください」と情報提供して見学しました。ある隊員は「通信体験はドキドキした」と笑顔で話していました。

ライフジャケットの大切さ学習 「必ず着用したい」

しまうみ探検隊の隊員たちは、海で安全に遊ぶための「備え」の大切さについて学びました。三豊市仁尾町の海岸では、ライフジャケットの役割や装着方法を教わりまし



ライフジャケットの正しい装着方法について学ぶ隊員たち

た。ある隊員は「ライフジャケットは、海でパニックになっても守ってくれる。命綱。必ず着用するようにしたい」と話していました。隊員たちは、ライフジャケットの選び方や正しい装着方法、役割を教わった後、海遊びを行いました。ある女子隊員は「体がふわふわと浮いてびっくり。とっても頼もしい」と嬉しそうに話していました。海から沖合に向かう強い潮の流れ「離岸流」についても学びました。

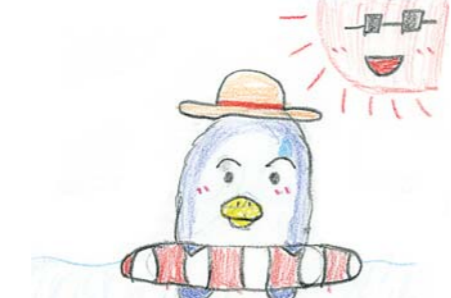


ライフジャケットの大切さを学ぶ隊員たち

このほか、熱中症の備えとして「しっかり水分補給し、しっかり休憩しよう」と学習。隊員たちは「海を安全に楽しむため、海の備えをしっかりとりたい」と誓っていました。

しまうみ 探検隊に参加して

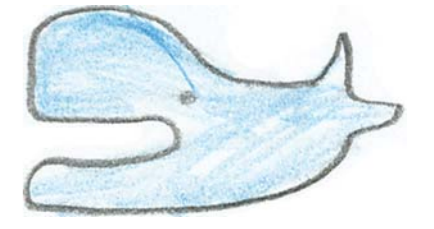
- 高橋壮丞さん(作田小5年) 粟島で観察した海ホタルはとてもきれいでした。また見たいです。
- 三原璃宗さん(飯山南小5年) シーカヤック体験が楽しかったです。海のことが大好きになりました。
- 太田愛琳さん(川岡小6年) 海のことを知ることができ、海のことをもっともっと好きになりました。
- 中川すずさん(さぬき南小6年) 生物を苦しめている海ごみを減らすため、自分ができる活動をしたいです。
- 松田昂さん(新番丁小6年) イカをさばく作業は大変でしたが、パーベキューはおいしかったです。
- 宇都宮絢さん(牟礼小5年) 海ごみがたくさんあることが分かりました。この体験を宝物にしたいです。
- 鈴木渉さん(付属坂出小5年) 海ごみの影響で多くの生物が死んでいることを知ることができました。



- 竹内結城さん(浅野小5年) 最初はドキドキしたけれど優しいみんなと仲良くなれてうれしかったです。
- 小原新太郎さん(高松・中央小6年) 海ごみを減らす方法を知れたので、友達や家族に伝えたいです。
- 佐伯粹花さん(前田小6年) 海や川で、ライフジャケットを着ることの大切さを知ることができました。
- 金井康太郎さん(国分寺北部小5年) ライフジャケットの着用方法を学ぶことができ、うれしかったです。
- 正田悠人さん(栗林小5年) 海に飛び込んだことやシーカヤックに挑戦したことが楽しかったです。
- 安藤舞季さん(付属坂出小6年) みんなと仲良くなることができ、海についても知ることができました。



- 十川都和さん(太田南小6年) ライフジャケットを着ると海で安全に遊べるので今後も使用したいです。
- 山野葉月さん(太田小6年) イカをさばく時、墨袋をつぶさないよう頭から切り離すのが大変でした。
- 河井苺似さん(城東小5年) 海を楽しみ、いっぱい汗をかいて楽しく海ごみを拾うことができました。
- 高木果穂さん(城東小5年) 海ホテルがきれいでした。夏休みの楽しい思い出ができてよかったです。
- 高橋瑠偉さん(亀阜小5年) 備讃瀬戸海上交通センターで海の安全を守る仕事を知ることができました。
- 大谷一喜さん(観音寺小6年) シーカヤック体験が楽しかったけれど、操縦するのが難しかったです。



- 糸谷心晴さん(多肥小6年) 海はきれいだけれど、たくさんの危険があることが分かり、驚きました。
- 菅紅羽さん(亀阜小5年) 新しい仲間ができたので、みんなでたくさんの方に挑戦したいです。
- 林勘太さん(陶小5年) 海にダイブしたことが楽しかったです。これからも安全に海で遊びたいです。
- 堀陽生さん(檀植小5年) 魚をさばいた時にドキドキしたけれど上手に調理することができました。
- 三崎葉奈さん(飯山北小5年) 海ごみを減らして、魚たちががしやすい環境にしていきたいです。
- 横井康生さん(綾上小6年) 海ごみの影響で生物の命が奪われているので、ごみを減らしていきたい。



7つのちがいがし

左右の絵を見比べて 7カ所のちがいを見つけてください。(作・絵 トミタ・イチロー)

かき氷屋



- ① 左下男性のまゆ
- ② 左下男性の髪
- ③ 左下男性の服
- ④ 左下男性の靴
- ⑤ 左下男性の顔
- ⑥ 左下男性の手
- ⑦ 左下男性の足

- ① 後方の木の枝
- ② 右下男性の髪
- ③ 右下男性の服
- ④ 右下男性の靴
- ⑤ 右下男性の顔
- ⑥ 右下男性の手
- ⑦ 右下男性の足

かき氷

ねえさんといもうと

シャーロット・ゾロトウ：文 酒井駒子：絵・訳



ねえさんは、何から何まで私の世話をしてくれる。ブランコに乗せてくれるし、泣いてしまった時には、おはなをかましてくれる。何でも知っているから、私はいつも言われた通りにしている。だけである時、ちょっとひとりになりたくなった。原っぱに身を

ひとりになってみたら

かくし、必死に自分をさがす姉さんに返事をしなかった。ついに姉さんが泣きだした。こんな時、姉さんはだれかたをだいたり、なみだをふいたりしてくれるのかな。姉妹のきずなと成長が、静かに心をゆさぶる。(あすなろ書房・1404円)

